

WEEKLY

例会場
 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
 事務局 豊橋市藤沢町141
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
 http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp
 email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

RIメッセージ

地区方針

クラブ方針

フランチエスコ・アレッツォ会長

鈴木康仁ガバナー

神谷馨会長

UNITE FOR GOOD

ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう!

 新たな時代へ 理想の未来への挑戦
 環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへ

第2回(通算1706回)例会報告		令和7年7月11日(金)	役員・理事挨拶
出席報告	総会員数58名(計算会員数54名) 欠席12名 出席率77.78% 前々回修正出席率94.64%		
歌/会場	かがやく空	会場: ロワジールホテル豊橋 2F「桜の間」12:30~	

会長の時間

神谷 馨会長



みなさまこんにちは
 先日の第一回例会は大変おいしい
 うなぎのお料理をいただきました。

せっかくですので「土用の丑の日」
 について、お話をさせていただきます。

「土用の丑の日」は、季節の変わり目(主に夏)にあたる『土用』の期間中の『丑(うし)の日』を指します。

土用(どよう)は暦の上で季節の変わり目を意味し、特に夏の土用が有名です。

丑の日は、十二支の「丑(うし)」に当たる日。土用の期間中に丑の日は1回または2回来る年があります。

今年は7月19日と31日の2回来る年です。

では、なぜうなぎを食べるのでしょうか?

これは江戸時代の発明家・学者 平賀源内(ひらが げんない) が広めたという説が有名です。

天然うなぎの旬が秋から冬ということもあり、夏はうなぎが売れないと源内にうなぎ屋が相談したところ、「『う』のつくものを食べると夏負けしない」という風習を利用して「本日、土用の丑の日。うなぎの日!」と宣伝した結果、そのお店のうなぎが大ヒットしました。そこから他のうなぎ屋も真似するようになったことで習慣が定着したということです。

ぜひ私たちの仕事にも活用したいものです。

栄養面でも、うなぎはビタミンA・B群やD、カルシウム、DHAなどを多く含み、夏バテ防止に理にかなっているとされます。

せっかく今年は2回もあるので、皆さまもぜひ2回食べてみてはいかがでしょうか。

豊橋や浜松は美味しいうなぎ屋さんがたくさんあります、美味しいお店をご紹介いただければと思います。

7月はロータリーの特別月間として、母子健康月間と定められています。

「母子の健康」とは、お母さんとその子供の心身の健康を守り、健やかな出産・子育てを支えることを意味します。

2022年10月RI理事会は、重点分野である「母子の健康月間」を4月から7月へ移しました。5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための支援を強調する月間としました。

愛知県で最も人気のある市として、大府市が紹介されていました。

子育てで支援として8時まで市が子供を預かる制度の導入をはじめ、公園の充実など様々な取り組みがとても役立っているとのことでした。

そのおかげで人口増加の傾向は顕著に表れています。

地元にもぜひ導入できればと感じました。

また、7月20日は第27回参議院通常選挙です。

その日同時に豊橋アリーナの賛否を問う投票も行われます。

私たちの地元地域の未来が明るく発展することを願っています。

次週のロータリー例会は、夏の家族会です。「豊橋祇園花火」を楽しみたいと思います。みなさまのご参加もお待ちしております。

よろしくお願いいたします。

入会記念日祝い

青木一臣会員



ロータリーの友読みどころ



尾崎雅輝雑誌委員長

雑誌委員長ということで、最初の月を務めさせていただきます。さて、クイズです。来年の国際大会はどこで行われるのでしょうか?はい、台北正解です。縦組みの見開

きのところにあります、台湾台北ですね。12月15日までに登録すると早期割引になります。横組5ページ、以前本会に講演に来られた高野孫左エ門さんが、「ロータリーの友」という雑誌は宝物であり、会員の皆様が日常の中でロータリーについて語り合う機会として広げていく媒体だと書いてあります。雑誌委員会の今年度の目標としたいと思います。横組みの17ページ、全国の各ガバナーが紹介されています。横顔というテーマでありますので、他己紹介という形で書いてあります。愛知県からは鈴木康仁ガバナー（蒲郡ロータリー）が紹介され、酒宴が好きだけど実はお酒が飲めないという一面が書いてありました。横組27ページ、ロータリー文庫。2万点以上のロータリー文献や資料がデジタル化されスマホやタブレットで簡単に見られます。ぜひご参考になってください。なおユーザー名とパスワードは7月2日に皆さんのメールに届いております。その次のページに、7月は「母子の健康月間」ということでインドのインタークトの方々が東アフリカのタンザニアで手作りの生理用品を作っているという話が紹介されています。横組44ページお願いします RI エレクトの辞任について理由と前会長が答えた内容が、「ロータリーの友」にしっかりと報告されていることに、またお互いのやりとりが温かいなと感じまして今回の一件に、安堵しました。横45ページに台湾で会いましょうという記事もありますので、ぜひご覧ください。横組みに移ります。和服を着た方が9ページに載っています。32歳のときに医科大に入学して、その後、精神科医として和服で診療を続けています。最後縦14ページ15ページで、俳壇、歌壇、柳壇が載っていますが、よく見る名古屋錦 RC の石井弘子さんが、なんと15ページ見ていただくと全部載っています。三冠王ということです。规则的には3句までしか申し込みできないのですから、すごい確率で三冠を取られたと思われます。以上とさせていただきます。

人生の岐路『あの時違う人生を歩んでいたら…』



牧 岳大 会員

皆様こんにちは。地区 RYLA 委員会への正式な出向6年を終え、また今年はクラブでも委員長役が無く、責任の上ではちょっと身軽な状況になっている牧です。

加藤プログラム委員長より人生の岐路『あの時違う人生を歩んでいたら…』のテーマの5分間スピーチのご依頼を頂きましたので、喜んで引き受けさせていただいた次第です。

しかしながら、このテーマ、私にとっては結構難しく、どのようにお話しすればよいか悩みながら原稿を作っていました。もの心つく前から負っていた背骨と椎間板のハンデとか、父と母からの遺伝の選択の岐路だったり、自分では選べない神様の選択としか思えないものから、祖父母の家の火災とその後どう再構築するかとか、妻との出会いとかあるのですが、私はかなり引きずるタイプで、「もしそうだったら」の世界を心の中で構築し生かし続けてしまうところがあつたりします。背中

が無かったらこうだからみたいな感じで時折現実を無視してしまったりもします。そして、理想と現実の狭間で無茶をして、それを根性と意地で無理やり現実的な状況に持っていくという選択が多かったです。この性格、周りの方に大変な思いをさせてしまうことも多いので変えられたらなとも思いますが、幼い頃から身についてしまったものなのでなかなか仕方ないとも思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

今回のテーマを頂いたとき、2023年の2月から3月にかけて数回やった、RYLA 学友会の皆様との「ヤングカウンセラーロールプレイング zoom 会議」を思い出しました。

2023-24年度のRYLAセミナーのテーマは「夢を咲かせよう！」でした。受講生各自の夢を実現するためにどのようなリーダーシップの研鑽を受講生各自に考えてもらえばよいかということになります。それを分科会としての発表まで持っていく。RYLA 学友はヤングカウンセラーとして受講生をリードする。ここまでする前提条件で、zoom 会議では「そもそもみんな夢持ってる？ 今って、それが実現してきた結果？ どう？」って互いに確認することから始めました。私含めて、そうではない方が多い結果で、「これ困ったな」ということで、「とりあえずどんな分科会運営になるか実験してみよう」という感じでロールプレイングをしました。私も受講生役として参加することになり、「夢見るユーチューバー」というキャラクターを頭の中で作って30分間なりきってみました。みんなの頭の中の夢の世界をインターネット内で共存させて仮想現実として見える形に実現する、「現実なんかどうでもよい、みんな仮想世界においてよ」と誘う困った受講生を演じた感じです。どこまで耐えられるかなって思いましたが、見事にヤングカウンセラーを担当した学友は、その受講生の世界に全体が染められすぎないように、上手に他の受講生役を誘導していました。この学友の方は若くしてこの時点でヤングカウンセラーとして十分すぎるリードする力を持っていたのですが、他の学友の中には毎年受講生を上手く導けなくて悔し涙を流す方もいらっしゃいます。セミナー中に本当に泣いてしまうのです。こういうことが毎年散見されるので、彼のノウハウを強引に開示させたという次第です。さて、ここから2年後、この間の3月のRYLAセミナー、晴れて互いの念願叶って、彼とカウンセラーとヤングカウンセラーとして組めて、今年は分科会対抗でしたが圧勝して、私も引退、彼も勝手に卒業って感じで、これもまた人生の岐路で、選ばなかった道を心の中に残し続けちゃうことになりますが、久々に同じレベルで話せる相手に会えたなあという感じで、出会いに感謝です。25歳の彼と同レベルの自分というのもなんだか情けなくも思ったりもしますが、互いに人生の岐路とか選択とか周囲の状況とか集団の中の各自の思いとかをうまく調和させてやっていけたら良いなと思っていたりします。

5分間でまとめきれなくて大変申し訳ないですが、続きや詳細については今後個人的にお聞きいただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました。



伊藤角栄会員

人生の岐路、私は何といても高校入学です。

三重県一志郡白山町現在の津市に位置する青山高原の中腹にある全寮制の日生学園第二高等学校（現在は青山高校）に入学したことです。中三の秋に一日体験入学に参加し父親が感激し、軍隊式でなかなかいいお前はここしかないなと大絶賛。それもそのはず、自家用車で校門の入り口を抜ける時両サイドに国旗・校旗を持った学生に加え元気よく挨拶する一人を加えた総勢6名でのお迎え、山道を2キロほど校舎に向かっていく途中、私たちの車を見るなり直立不動、大きな声でこ・ん・に・ち・はと45度姿勢で挨拶。すれ違う生徒がみんなそんな感じでした。校舎の中に入っても同じで、全寮制なので寮の中でも同じです。

入学して間もなく、お前は生意気だと背が高いというだけで殴られ、目を合わせば殴られたみたいな感じだったのを覚えています。

一日のスケジュールは以下の通り

4時半 起床 洗顔3分 掃除10分 着替え2分
5時00 道場での心行 床磨き
6時00 団体訓練 寮単位120名程度
5列縦隊にて走調あわせ行進
7時00 帰寮 掃除3分 整理整頓3分
8時00 授業
13時 昼食
13時半～ 授業
15時半 帰寮 掃除 床磨き
16時～ 寮単位5列縦隊にて マラソン
17時 夕食
18時から20時45分 自習 掃除 洗顔
21時 就寝

これを3年間続けると修行僧のような悟りが得られるかと思いきや、率先してやればの話である。大変な3年間でした。おかげで全国各地に友人ができ、今でも交流を続けています。もし地元の高校へ入学していたら中退していたと思います。

建学の精神 第一流の人物となり世の一隅を照らす人物たれ

役員・理事挨拶



本多英司直前会長

みなさんこんにちは。

本年度直前会長の本多英司です。よろしくお願いいたします。

毎週恒例の「会長の時間」が終わってやれやれと思っているのが正直なところですが、今年度も気を抜かず、やるべきことを考えて、しっかりと神谷会長を支えていきたいと思っています。

でも、直前会長って何やるんだろう？と思い、調べてみたら、こういう記述がありました。

「直前会長は、前年度の活動の成果や懸案事項などの情報を提供すると共に、理事会のメンバーとしての任務、

及び、その他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。」

要するに、経験したことをちゃんと伝えて、サポートしなさいという事ですね。

昨年の年度末懇親会で杉田さんにも触れていただきましたが、杉浦会長時代にプログラム委員長を仰せつかって以来、多くのご縁をいただいて、5年連続の理事会入りを果たしました。まさに、ここ数年の目まぐるしい情勢の変化をつぶさに経験してきているので、その経験を活かして直前会長の任務を全うし、魅力あるクラブ活動となるよう、一緒に盛り上げていけるよう、頑張っていきます。

盛り上げていくためのもう一つの活動として…私たちのクラブには、多くの趣味の会があります。昨年度会長時代に他クラブの方たちとお話したところ、うちのクラブは他クラブに比べて趣味の会が多いそうで、それもウチのクラブの魅力のひとつかなと。

そんな中、当年度は神谷会長も大好きなゴルフの趣味の会、「クラブ・ゴールドエンカップ」の会長を務めさせていただくことになっていますので、こちらも盛り上げていきたいと考えています。

例年通り、年6回以上のゴールドエンカップを開催しますが、今年はさらに、他の趣味の会と連携して、遠征ゴルフを企画します。もちろんゴルフをしない方も楽しめるような企画にしますので、みんなで楽しく親睦と交流を深めましょう。

そして今年度はもう一つ、目標を設定しています。

来年4月13日の東三河分区親睦ゴルフ大会で、昨年度のリベンジを込めて、団体優勝を目指します。ゴールドエンカップと同時開催としますので、是非みんなに参加して、勝利の美酒を楽しみましょう。ここでも終了後に他の趣味の会と連携して祝勝会を開催したいと思っています。「ゴルフあまり上手じゃないから」、なんて心配はいりません。ダブルペリアなので、みんなにチャンスがあります。昨年は高井さんがポイントゲッターでした。さらに、昨年の女性出場者は120人中加藤ゆり子さんただ一人でしたが、今年度は、ウチのクラブの女性ゴルファーが増えているので、是非参加お願いします。他クラブのうらやむ顔が目には浮かびます。それも楽しみの一つです。

それから、グローバル補助金事業も継続していますので、村松プロジェクトリーダーをサポートして、ブータンへの支援活動を行います。

また、昨年から続くインスタグラム。

私の中では1000フォロワーの夢はまだ継続していますが、先週高橋幹事が言っていたように、まずはメガワールドさん越えを目指して協力させていただきます。

直前会長のお話とは少しずれましたが、いろいろな立場、場面から神谷年度を盛り上げていきたいと思っています。1年間、よろしくお願いいたします。

加藤ゆり子プログラム委員長

みなさま、こんにちは。

今年度プログラム委員長の加藤ゆり子です。よろしくお願いいたします。

プログラム委員会として、神谷会長の掲げたクラブ方針『新たな時代へ 理想の未来への挑戦』のもと、各委員会や会員メンバーと連携を取りながら、私達ロータリアンが地域社会と自身の事業の為に、何ができるかを考え行動できるよう、有意義でスムーズなプログラム運営をしたいと思っています。

活動計画といたしまして、各例会のプログラムを作成し、各例会時のタイムスケジュールも作成します。理事・役員や例会担当委員長、その他の関係者と連携をしながら、国際ロータリーの年間テーマや月間行事を組み入れ、担当委員会に例会の企画を依頼し、そして会員相互の親睦を深める為に会員スピーチの時間を設け、理事会の承認を得た上で告知し実行していきます。

今回の会員スピーチのテーマは【人生の岐路～あの時違う人生を歩んでいたら～】です。

人にはそれぞれ歩んできた歴史があります。現在ゴールデンロータリークラブで知り合った仲間も、ひょっとしたら出会っていなかったかもしれません。人には何度も自分の人生を選択する機会があったと思います。

その話をぜひ親睦を深めた仲間聞いてもらおうと共に、もし違う人生を選択していたら自分がどうなっているのか？とぜひ想像し、描いた考えを教えてくださいたいと思います。

仕事やプライベートの事などを踏まえてのスピーチを依頼しますので、ぜひ皆様のお話を聞かせて頂きたいと思います。出欠席等での日程調整もさせていただきますので、私より連絡ありましたら、「YES！」の快い返事をお待ちしています。

プログラムの基本構成は、今年度クラブ計画書のプログラム委員会のページに記載してありますが、プログラム委員会担当の30分間の卓話例会では、クラブ方針やクラブ会員の為になるゲストスピーカーにお願いし、意義ある卓話例会にしていきたいと思っています。

また、今年度も会員増強の為に公開例会も実施しますので、例会へのお誘いや周知など皆様のご協力をお願いします。

そして特別例会のプログラムの中で、今年度もゆとりの例会を2回設けました。今までは、ゆとりの例会は朝行うのが恒例となっていました、2回のうち1回は夜のゆとりの例会を例会場の都合により、場所を変えて開催する事を考えております。春を感じる例会も少し志向を凝らした演出も考えていますので、今まで以上に親睦を深めて頂ける例会にしていきたいと思っています。

今年度7月より、神谷年度スタートしたばかりですが、まだ準備段階の半年を終えてだけなのに、プログラム委員長は大変なお役目だと思いました。

一年間を通してプログラム構成から理事会、担当卓話の

考案、前日まで変更ありのタイムスケジュール管理とスピーチ等の依頼調整など、まだ一年終わっていませんが、一年後の私はとても最強なロータリアンになっているのでは？と思います。先輩プログラム委員長の方々に敬意を払うと共に、今年度プログラム委員長として、しっかり例会を盛り上げ、会員の皆さまが意義あるそして中身のあるロータリー活動が出来るよう、しっかり下支えしていきたいと思いますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。



鈴木雅人職業奉仕委員長

本年度、職業奉仕委員会の委員長を務める事となりました鈴木雅人です。神谷会長の基で、しっかりと学び、委員長として頑張っていきますので、どうか一年間よろしくお願いいたします。まずは、基本方針を読ませて頂きます。

活動内容としましては、まずは毎月第一例会にて「四つのテスト」の唱和を行わせて頂きます。こちらにつきましては、理事会にて「四つのテスト」の歌もありまして、そちらの方が「四つのテスト」が口ずさみ易いのではとの意見を頂いておりますので、何らかの形でそちらも実施出来ないかを、現在検討しております。

また、担当例会としては、11月21日に職場見学例会、1月23日に卓話例会、1月30日にフォーラムを予定しております。こちらについては、まだ議案もあげていませんので、詳細は控えさせていただきますが、先日の地区研修協議会の報告をさせて頂いた通り、今年の地区職業奉仕委員会の方針に於きまして、会員が自らの企業活動に対して職業奉仕の理念や四つのテストを落とし込む例会の実施を推奨しております。今年度、職業奉仕委員長という貴重な機会を頂きましたので、出来ましたら私自身の会社や業界を通して、職業奉仕を学ぶ機会にしていきたいと思っています。

特に、今年度のクラブ方針では「私たち自身が地域活性化の主役になること」「次世代を担う子供たちへの取り組み」「危機管理への取り組み」がテーマとして掲げられています。皆さんの仕事に於いても同様だとは思いますが、私が仕事として関わっています建設業に於いても、「地域の未来を創るインフラの整備、地域を守る防災・減災への取り組み、災害発生に対する都市機能の早期復旧」といった、テーマと関係のある事が多々あると思っています。

被災時に於いては、「自助」「共助」「公助」すべて関わりを持つ業界でありますので、皆さんに自社や業界の活動や想いをお伝えする事で、今年度のクラブ活動に於いて何らかのお役に立てればとも思っております。

そして、先日、昨年度の地区職業奉仕委員長でありました鬼頭会員と少しだけですが、職業奉仕について話をさせて頂いた時に、「職業奉仕」をどの様に考えるかは一人一人違って良いとのアドバイスを貰いました。個人的には「職業奉仕」とは「職業を通して社会に奉仕を行



う」事だと思っています。ですので、改めて自分の職業とは、その職業が社会の問題やニーズにどう答えているのか、そして事業活動を「四つのテスト」に照らし合わせることで、これからの活動へのヒントを得られるかもしれない、そんな例会になる事を願っております。

改めまして、1年間よろしくお願いします。



浅井大介社会奉仕委員長

皆さん、こんにちは。今年度社会奉仕委員長を務めさせていただきます浅井大介です。本来であれば5月までは小久保会員が本年度委員長として活動する予定でしたが、体調に問題が見つかり検査結果次第では長期入院となる可能性があるということで大学の先輩でもある小久保会員から後事を任されて就任いたしました。2度目の社会奉仕委員長となりますがよろしくお願いします。それではクラブ計画書の38ページをご覧ください。こちらは小久保会員による渾身の事業計画書になります。なにぶん突然のことで差し替えが間に合わなかったため、私の事業計画は口頭にてご説明させていただきます。

さて、ロータリーにおける社会奉仕とは「クラブの所在地域または行政区内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行うさまざまな取り組みからなるもの」とあります。また、決議23-34においては「ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用、育成することである」となっております。

以上のことから本年度社会奉仕委員会では、クラブ方針「新たな時代へ、理想の未来への挑戦」のもと、会員の皆様の心に奉仕の理念が沸いてくることを目指した社会奉仕活動の機会を提供できるよう、また志半ばで交代を余儀なくされた小久保会員の熱い思いを会員の皆さんにも届けられるように努めてまいります。まずは10月の社会奉仕担当例会および社会奉仕フォーラムに向けて現在急ぎ準備を進めており、3月には環境保全例会も開催させていただきます。また、ないに越した事はないのですが、大規模災害等が発生した場合は会員の皆様に救済支援金等をお願いする事もあるかとは思いますが、その際にもご協力をお願いいたします。

社会奉仕委員長として精一杯努めてまいりますので一年間よろしくお願いします。ご静聴ありがとうございます。



飯野益通国際奉仕委員長

2025-26年度 国際奉仕委員長を拝命いたしました飯野益通と申します。

3度目の委員長になりますが、これまでの2年は新型コロナの影響がある時期でしたので、あまり記録に残る実績が無かったせいか、また委員長の役が回ってきてしまいました。

しかし初めて普通の状況で委員長ですので、まずはいろ

いろな方と交流して、密になって、普通のロータリー活動を楽しめたらと思います。

＜基本方針＞国際奉仕とは、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動から成るものとあります。

本年度クラブ方針「新たな時代へ 理想の未来への挑戦 ～環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへ～」のもと、激動する世界情勢の中、地域や国際社会との交流を通じて、わたしたちの未来につながる活動を考え行動したいと思います。

基本方針からすると、他国の人々を助けることを目的とした...とあるので基本的には海外での奉仕活動という風に読み取れますが、その次に、クラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じてというところからは当クラブだけではなくロータリー全体の活動、例えば海外で起きた災害地域への募金なども含まれるように思えます。

ここ数年の国際奉仕委員長さんは本当に行動力があり、海外で素晴らしい奉仕活動をされました。わたしはそのような活動はできないかもしれませんが、この機会をチャンスと捉え興味が持てた事について行動し、新たな時代へというテーマを意識して地域のより良い未来のために何かができればと思います。

何をやればよいのか悩んでいる頃に、神谷会長のクラブ方針の中にヒントになる文章を見つけました。“理想の未来に向けて私たちロータリアンが地域社会と私たち自身の未来のために何ができるかを考える”という部分です。地域で必要とされている国際奉仕があるのではないかなと思えるようになりました。

私は今、多米中町に住んでおり、ご存知のようにブラジル人が多く住んでいる地域です。多米小学校近くの柳原団地にはポルトガル語表示のみの看板も多く見られます。息子が小中学校の頃は時々ブラジル人の友達と遊んだり、運動会や発表会、入学式では大きな体のご父兄と並んで集合写真に写ったり、わずかですが交流はありました。しかし子供が大きくなるにつれて、そういう機会は減り、交流する場もなくなっていきました。少し寂しい思いもしますし、(息子の同級生だった)彼らは今どうしているのかと考えることもあります。

海外から日本に来て暮らす人たちの思いや苦勞、現実にある課題を知る事は、日本から海外へ移住や、仕事で赴任して頑張っている人たちのことを考える機会になると思います。そして国際化が今より進んだ新しい未来に向けて、日本人がもっと国際社会で活躍できることを期待し、そのための支援ができればと思っています。

最後に当委員会には、前年度委員長の村松会員はじめブータンプロジェクトのメンバーもおりますので、両方が達成できるよう相談しながら取り組みたいと思います。

委員会メンバーの皆さん、会員の皆さん 一年間ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



青木一臣青少年奉仕委員長

本年度、神谷会長の元、青少年奉仕委員長を務めます青木一臣と申します。

よろしくお願い致します。

本日は少しお時間をいただき、青少年奉仕委員長としての私の思いや考えをお話しさせていただきます。

私、このクラブで最年少の会員なんです。

若者代表みたいな立場で、若者を育てるって何だろう、って、偉そうでちょっとおかしいですよ（笑）。先日も青少年奉仕の北部中での外例会で、『口がたっしやな生徒さんから新人の先生くらいの年じゃん！』とイジられたばかりで。

だからこそ近い目線で一緒に考え、学び合える委員長でありたいと思っています。

青少年奉仕というのは、単に子どもたちに何かを「教える」「指導する」ということではなく、彼らの可能性を信じ、尊重し、一緒に成長を支えることだと考えています。

そして、将来の夢を描けるような前向きな考え方を伝えていくことも、地域社会の発展につながる大切な要素だと思います。

私たち大人が子どもたちに「失敗してもいい」「挑戦するって楽しい」ということを伝え、応援していけるような活動を目指したいと思います。

また、今の日本では貧困問題も深刻化しており、統計では 6 人に 1 人、約 2000 万人が年間 127 万円未満の所得で暮らしていると言われています。

多くの子どもたちが食事を含む支援を必要としている現実があります。

私自身も、青少年奉仕委員長として、まずはこの地域の現状を知り、子どもたちへの支援にクラブとしてどう取り組めるかをしっかり考え、動いていきたいと思っています。

さらに、インターアクトやローターアクト、RYLA、青少年交換といったロータリーのプログラムも活用し、子どもたちが視野を広げ、国際理解を深め、リーダーシップを学ぶ機会を増やしていきたいと考えています。

海外交流を通じて「世界を知り、日本を知る」体験は、きっと彼らにとって大きな財産になりますし、将来の平和にもつながると信じています。

ただ、こうした活動は委員会だけで進められるものではありません。

クラブの皆さま一人ひとりのご理解とご協力があつてこそ実現できます。

どんな小さなことでも構いません。

声をかけ、見守り、ちょっと相談に乗ってあげる、そういった日々の関わりが大きな支えになると思います。

私自身、まだまだ未熟で、最年少の立場ではありますが、だからこそ若い世代の気持ちに寄り添いながら、一緒に学び、支えていけるように全力を尽くしたいと思っています。

今年度も、どうか青少年奉仕活動への温かいご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

ありがとうございました。

★ニコボックス

神谷 馨・高橋哲也：本多直前会長、鈴木雅人職業奉仕委員長、浅井社会奉仕委員長、飯野国際奉仕委員長、青木青少年奉仕委員長、役員・理事挨拶よろしくお願ひ。

青木一臣：入会記念日をお祝い頂き。

尾崎雅輝：ロータリーの友読みどころを紹介させて頂き。

牧 岳大・伊藤角栄：会員スピーチをさせて頂き。

本多英司・浅井大介・

飯野益通・青木一臣・

鈴木雅人：役員・理事挨拶をさせて頂き。

福沢省吾：7/10 に 2024-2025 年度の一般会計、ニコボックス会計、特別会計の監査をし、全て適正でありましたことをご報告します。

杉田和俊・辻 信之・牧 岳大・

今川明彦・村松 光・太田和彦・

宮川嘉隆・山下 孝・三浦時子：役員・理事挨拶楽しみにしています。

山口幹夫：例会参加の支援に感謝します。

牧 岳大：豊橋祇園祭、妻の曾祖父 牧仙市の三十三回忌追悼の名目でミュージックスターマインを上げさせて頂きます。花火、楽しんで頂ければ幸いです。

鵜殿健次：ドラゴンズ 9 回の大逆転！！しかしバレーボールが始まり妻が TV 独占。スマホでしたドラゴンズをみれません。がんばれ日本！がんばれドラゴンズ！

山下 孝：東日新聞にサールフィナンシャルサービスの新商品リバースモゲージ（商品名：ゆとりあん）の記事が載りました。

中村彰宏：ニコボックスの発表をさせて頂き。

中村彰宏ニコボックス委員

★幹事報告

・ロータリーの友 7 月号掲載記事のご案内が届いております。

★他クラブの例会変更

■7月22日(火) 宝 飯RC 納涼例会

■7月25日(金) 蒲 郡RC 蒲郡まつり花火大会家族例会

■7月30日(水) 豊橋東RC 公開例会

豊 川RC 納涼家族会